

# 「ひょうご子ども・若者応援団」事業成果報告書

## ご協力いただいた企業・団体等

事業にご協力いただいた企業等	(株)神明
ご提供いただいた資源	餅、小豆、砂糖(おぜんざい100食分)

## 事業の概要

事業名	親子で学ぶ「災害等への備え学習」
実施団体	親子で防災を考える会
事業内容	<p>&lt;実施日時・場所&gt;</p> <p>平成22年1月12日(火)播磨町中央公民館 平成22年1月13日(水)稲美町加古福祉会館</p> <p>&lt;趣旨・目的&gt;</p> <p>災害・防災について考え、体験する。日頃からの備えについて学び、幼児期から「自分の命を大切に!自分の命は自分で守る」という意識の定着を図る。</p> <p>&lt;参加者&gt;</p> <p>両日合わせて 89人(幼児43人、保護者41人、スタッフ5人)</p> <p>&lt;主な内容&gt;</p> <p>防災用非常持ち出しグッズの展示 女性消防団による啓発劇の観賞 ビデオ・紙芝居を用いての防災についての学び 炊き出し訓練</p>
事業成果	今回、播磨町では幼児向け防災ビデオ、稲美町では女性消防団による心肺蘇生法とAEDの使い方の啓発劇の観賞、震災15年の黙祷もしました。その後、あたたかいおぜんざいをいただきました。震災の時に避難所生活を経験された母親が何人かいて、あたたかい炊き出しがとても有難かったというエピソードを話してくれました。このおぜんざい一杯で、子どもも母親も、心も身体も温まるひとときを過ごすことができました。



防災に関する劇をみたあとは、おぜんざいをいただきながら震災当時のエピソードを語りあいました